



Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 の新機能

Cloud Volumes ONTAP

Ben Cammett
July 08, 2021

目次

Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 の新機能	1
最新のアップデート（2021 年 4 月 21 日）	1
最新のアップデート（2021 年 4 月 12 日）	1
書き込みパフォーマンスの向上	1
新しい EC2 インスタンスタイプがサポートされます	2
Azure で 24 個の Storage VM がサポートされます	2
必要な Cloud Manager Connector のバージョン	2
Cloud Manager 3.9.4 で導入された変更点	2
アップグレードに関する注意事項	2

Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 の新機能

Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 には、いくつかの新機能と機能拡張が含まれています。

その他の機能と機能拡張は、Cloud Manager の最新バージョンで導入されました。を参照してください
["Cloud Manager リリースノート"](#) を参照してください。

最新のアップデート（2021 年 4 月 21 日）

AWS では、ディザスタリカバリ（DR）用に最大 24 個の Storage VM（SVM）を設定できるようになりました。これまでの制限は、DR に使用する Storage VM 12 台でした。

["Storage VM の制限に関する詳細情報"](#)。

最新のアップデート（2021 年 4 月 12 日）

Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 のリリース以降、いくつかの更新が行われています。

- AWS アップデート *
- Cloud Volumes ONTAP では、9.7 リリース以降、汎用 SSD（GP3）ディスクがサポートされるようになりました。GP3 ディスクは、幅広いワークロードのコストとパフォーマンスのバランスが取れた、最も低コストの SSD です。

["Cloud Volumes ONTAP で GP3 ディスクを使用する方法については、こちらをご覧ください"](#)。

- Cloud Volumes ONTAP はコールド HDD（sc1）ディスクをサポートしなくなりました。

これらの EBS ディスクの変更は、Cloud Manager 3.2.5 の一部として導入されました。

- Azure アップデート *
- 新しい E シリーズ VM タイプがサポートされます。
 - 4S_v3 でシングルノードシステムの場合は、PAYGO Explore または BYOL を使用します
 - ONTAP を使用する単一ノードシステムの場合は、PAYGO Standard または BYOL を使用し、HA ペアは PAYGO Premium または BYOL を使用します
 - E64is_v3：PAYGO Premium または BYOL を使用したシングルノードシステム
- Cloud Volumes ONTAP BYOL では、最大 24 個の Storage VM（SVM）がサポートされています。これらの 24 個の Storage VM からデータを提供することも、ディザスタリカバリ（DR）用に設定することもできます。

Azure では、これまでの上限である DR 用に 12 台の Storage VM を使用しました。

書き込みパフォーマンスの向上

このリリースでは、すべてのクラウドプロバイダとすべての構成で、Cloud Volumes ONTAP の書き込みパフォーマンスが向上しています。

新しい **EC2** インスタンスタイプがサポートされます

次の Amazon EC2 インスタンスタイプで Cloud Volumes ONTAP がサポートされるようになりました。

- m5a.2xlarge 、 with Standard および BYOL 」の 2 つのタイプがあります
- m5a.16 倍 (Premium および BYOL
- C5a.12xL (プレミアムおよび BYOL)

の詳細を確認してください ["M5a インスタンス"](#) および ["C5a インスタンス"](#)。

["AWS でサポートされている設定を表示します"](#)。

Azure で 24 個の **Storage VM** がサポートされます

独自のライセンスを使用 (BYOL) すると、 Azure の Cloud Volumes ONTAP で 24 個の Storage VM がサポートされるようになりました。

デフォルトでは、 Cloud Volumes ONTAP に付属する最初の Storage VM 以降に追加する data_serving_storage VM ごとにアドオンライセンスが必要です。アカウントチームに連絡して SVM アドオンライセンスを入手してください。

ディザスタリカバリ (DR) 用に設定する Storage VM には追加ライセンスは必要ありませんが (無償) 、 Storage VM の数は制限に含まれます。

["Azure の Storage VM の制限に関する詳細はこちらをご覧ください"](#)。

["Cloud Volume 用のデータ提供用 Storage VM を作成する方法について説明します Azure の ONTAP"](#)。

必要な **Cloud Manager Connector** のバージョン

新しい Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 システムを導入し、既存のシステムを 9.9.4.0 にアップグレードするには、 Cloud Manager Connector のバージョン 3.9.4 以降が実行されている必要があります。

Cloud Manager 3.9.4 で導入された変更点

Cloud Manager 3.9.4 リリースでは、 AWS KMS のサポート強化、 Google Cloud での共有 VPC のサポート、 Google Cloud での IP の削減など、 Cloud Volumes ONTAP の管理機能がいくつか強化されています。

にアクセスします ["Cloud Manager リリースノート"](#) 3.9.4 リリースの詳細については、を参照してください。

アップグレードに関する注意事項

- Cloud Volumes ONTAP のアップグレードが Cloud Manager から完了している必要があります。 System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響を与える可能性
- 9.8 リリースから Cloud Volumes ONTAP 9.9.0 にアップグレードできます。既存の Cloud Volumes ONTAP 9.8 システムを 9.9.0 リリースにアップグレードするよう求めるメッセージが Cloud Manager に表示されます。

"Cloud Manager から通知された場合のアップグレード方法について説明します"。

- シングルノードシステムのアップグレードでは、I/O が中断されるまで最大 25 分間システムがオフラインになります。
- HA ペアのアップグレードは無停止で、I/O が中断されません。無停止アップグレードでは、各ノードが連携してアップグレードされ、クライアントへの I/O の提供が継続されます。

C4、M4、および R4 インスタンスタイプ

9.8 リリース以降では、新しい Cloud Volumes ONTAP システムで C4、M4、および R4 インスタンスタイプはサポートされません。C4、M4、または R4 インスタンスタイプで実行されている既存の Cloud Volumes ONTAP システムがある場合も、このリリースにアップグレードできます。

C5、m5、または r5 インスタンスファミリーのインスタンスタイプに変更することをお勧めします。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.